

特集 市民の安全な暮らしを守る消防団



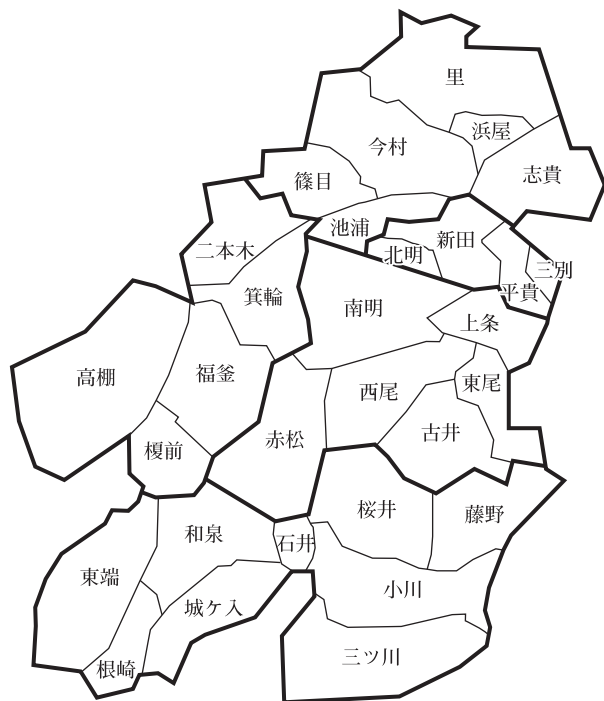
地域を守る消防団へ入団しませんか。消防団に興味がある、またはボランティアなどで地域に貢献したいと思っている人は、防災危機管理課または安城消防署まで連絡してください。

消防団とは
消防団員は特別職の地方公務員です。自分の職業を持ちながら、「自分たちのまちは、自分た

ちで守る」という考えのもと、消防団に入団しています。

安城市消防団の概要
市内に30の分団(左図)があり、総勢401人が活躍しています。平均年齢は32・4歳で、20歳から71歳までの人がいます。平均在職年数は5年。最高在職年数39年の人もいます。

問▼防災危機管理課
(☎71)2220
安城消防署
(☎75)2001



市内の分団配置図

■主な活動

- 火災の消火作業
- 地震や台風などの警戒・救助
- 総合防災訓練・水防訓練などへの参加
- 安城七夕まつりや年末の特別警戒
- 火災予防の防火広報

このほか、ラッパ隊を設置して、消防行事での演奏や訓練

練もしています。

■補償など

報酬・費用弁償・退職報償金(3年以上)・公務災害補償・福祉共済(病気での入院)など。

■消防団員の条件

20歳以上で安城市に在住・在勤の人。

消防団員の声

山田昇広さん(志貴分団)



私たちは、仕事を持ちながら、できる範囲で活動をしています。主な活動は、火災発生時の消防活動や火災予防運動、防災活動、町内会や市の防災訓練への参加などです。消防活動の訓練は、主に操法という競技を通して、基礎的な動作や器具操作などの技術を身に付けています。毎年6月には、その熟練度を競う市の操法大会が開催されます。昨年度、志貴分団は優勝し、県大会に出場することに。県大会に向け、さらなるレベルアップをめざし、仕事後や休日に時間を見つけて、訓練に励みました。地域の皆さんの応援や市・消防署の支援もあり、県大会では入賞という結果に。自信と誇りを得られ、貴重な経験ができました。生まれ育ったこの町で何か社会貢献を、と思って始めた

消防団活動。入団してから1年半。消防士のように高度な救助活動などはできませんが、これからも、災害時だけでなく日常生活でも、共助の気持ちを持った、地元密着型で人間味のある活動を続け、町に明るい彩りを加えていきたいと思っています。災害はいつどこで起きるかわかりません。安城市で暮らす皆さんに、消防団活動へのご理解とご協力をいただき、私たちとともに活動していただける人が増えることを願っています。消防団活動で得られる成果は、きっと大きいものになると思います。

